

大学入試の動向に関する調査

愛媛県立松山南高等学校・砥部分校

河野 志行

1 はじめに

昨年度から大学入学共通テストに情報が導入された。導入初期であるため内容や利用形態など随時変更が生じることが予想され、継続的な注視が必要と思われる。そこで動向を調査して報告する。

2 大学入学共通テストの変更点

情報に限らず全般的には、出願手続きが電子化され受験票などの郵送がなくなったことが大きい。

内容については、新課程 2 年目となる今年度(令和 8 年度試験)は、昨年度に限り実施された旧課程履修者対象の経過措置である「旧情報」はなくなり、「情報 I」のみの実施となる。

また、公開された「試験問題冊子の注意事項及び解答用紙の様式について」によれば、マークシートの選択肢が 0～9、a～f に増やされた。これにより、直接 16 進数で解答させる問題の出題が可能になるものと思われる。なお、数学において a、b 等の選択肢は昨年度からなくなっている。

3 入学選抜における共通テスト利用の変更状況

各大学の入試における共通テスト「情報」の扱いの変更について、河合塾 Kei-Net において集約された情報を元に、各大学の募集要項・選抜要項を確認した。私立大学においては、近畿以西の大学のみを対象にした。なお、表中の配点比率は個別テストを含めた全体の配点に対する比率である(小数点以下四捨五入)。

表 1 今年度(令和 8 年度入試)の変更点(国公立大学)

大学	入試種別	変更内容	配点比率
北見工業	全学科・前期	必修化	5%
北海道	全学部・前後期	点数化	2～3%
筑波	全学群・前後期	配点増	1～4%
新潟県立看護	看護・前後期	選択に追加	11～13%
富山県立	全学科・前後期	追加	4%
石川県立看護	看護・前後期	選択に追加	12～13%
新見公立	全学科・前中後期	選択に追加	13～20%
県立広島	生命・後期	削除	
香川県立保健医療	全学科・前後期	追加	0%

表 2 来年度(令和 9 年度入試)の変更点(国公立大学)

大学	入試種別	変更内容	配点比率
筑波	全学群・前後期	配点増	1～6%
お茶の水女子	人文科学・後期	削除	
徳島	全学部・前後期	点数化	2～5%
香川	略全学部・前後期	点数化	1～2%
宮城	事業構想・前後期	選択化	13%
公立小松	生産システム・前中期	追加	5%
公立小松	保健医療・前期	選択に追加	13%
公立小松	国際文化・前中期	選択に追加	10～11%
静岡文化芸術	芸術文化・前期	選択から削除	
静岡文化芸術	芸術文化・後期	選択に追加	25%
静岡文化芸術	国際文化・後期	選択に追加	18%
京都府立	森林科学・前後期	追加	6～10%
香川県立保健医療	全学科・前後期	点数化	2%

国立大学においては、原則として情報を含む全教科を必修としている(後期日程においては扱いが異なる場合が多い)。必修としたものの配点に含めないこととしていた大学のうち、北海道大学は今年度から、徳島大学・香川大学は来年度から点数化することを発表しているが配点は高くない。また、筑波大学は 4 年間かけて本来の配点に移行する措置をとっており、今年度は 50%、来年度は 75%に圧縮する扱いとなっている。

公立大学においては、複数教科の中から高得点の科目を使用する選択制に情報を加える例が目立つ。

私立大学の共通テスト利用入試においても、選択可能な複数教科の中に情報を加える変更が、今年度は立命館大学と大阪工業大学、来年度は松山大学において見られる。

4 個別テストの動向

今年度における変更は少ないようである。

昨年度(令和 7 年度入試)において、情報の個別テストを実施した国公立大学は、電気通信大学・前期、高知大学情報科学科・前期、広島市立大学情報科学部・後期であり、今年度も同様である。このうち広島市立は情報が必須である。

近畿地方の私立大学では、京都産業大学の情報理工学部・理学部が情報を選択可能であり、今年度から公募推薦入試にも拡大された。京都文教大学では、論理的思考力判定方式において情報の記述式試験を課している。関西国際大学では保健医療学部以外の学部において情報が選択可能である。

これに加えて、今年度から立命館大学が 4 つの学部で「情報型文系」、3 つの学部で「情報型理系」の入試を開始する。これについては後述する情報処理学会「ぺた語義」にも記事がある。

中四国では、安田女子大学が一般選抜前期で管理栄養学科と薬学科が情報を選択できないほかは、学科試験を課す各入試で情報を選択可能である。徳島文理大学はⅠ期 A 日程において薬学科以外で情報が選択可能である。

九州では、九州情報大学・日本経済大学・第一工科大学が一般選抜で選択可能、筑紫女学園大学が一般選抜前期で選択可能、西日本工業大学が推薦と一般選抜で選択可能、別府大学が看護学部を除き一般選抜 A 日程と B 日程で選択可能となっている。

5 情報処理学会の動向

一般社団法人情報処理学会は情報処理分野における国内最大の団体であり、春に全国大会、秋に情報科学技術フォーラムという学界全体規模のイベントを行っている。その中で大学入試や初等中等教育における情報教育に関するイベントが設けられている。学会誌「情報処理」には初等中等教育を対象にした「ぺた語義」というページがあり、これらイベントについての報告を含む記事が掲載されているので紹介する。

また、毎年夏にはコンピュータと教育研究会が「情報教育シンポジウム」を主催しており、研究発表の内容は公開されている。

今年度の全国大会は 3 月 6 日(金)から 8 日(日)まで松山大学で開催される予定であり、その中で 7 日(土)には「中高生情報学研究コンテスト」の全国大会も開催されるので、ぜひ参加したい。

6 参考文献 (2025 年 12 月 18 日～20 日参照)

- (1) 大学入試センター・大学入学共通テスト・試験情報・令和 8 年度試験
https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/r8/
- (2) Kei-Net – 大学入試情報 – 最新入試情報
<https://www.keinet.ne.jp/exam/future/>
- (3) 各大学入試関係サイト
- (4) 立命館大学 – 入試案内 – 一般選抜・「情報」の本学独自入試の導入について
<https://ritsnet.ritsumei.jp/admission/general/Informatics.html>
- (5) 情報処理学会・学会誌「情報処理」・教育コーナー「ぺた語義」
<https://www.ipsj.or.jp/magazine/peta-gogy.html>
- (6) 情報処理学会電子図書館情報学広場 – 情報教育シンポジウム – 2025
https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/search?page=1&size=75&sort=custom_sort&search_type=2&q=1754614000739
- (7) 情報処理学会第 88 回全国大会
<https://www.ipsj.or.jp/event/taikai/88/>